

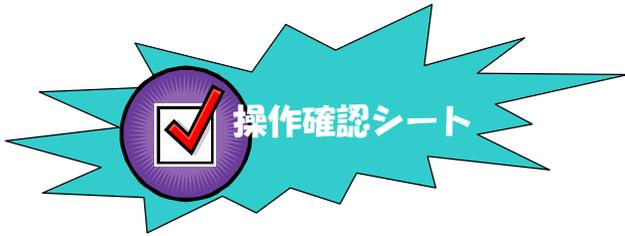
与条件編集

*** 敷地の入力 (DXFの利用) ***



生活産業研究所株式会社

シートNo.	メニュー	条件選択	サブメニュー	操作画面1	操作画面2	操作画面3	次操作	備考
①	与条件 [与条件]をクリック 	CASE1 DXFファイルを利用 (敷地形状をトレース) ・デジタル入力 ・三斜入力	本敷地 [図形]をクリック 	本敷地編集 「参照図面の選択」をクリック 	参照図面ファイル選択 「ファイルの場所」・「ファイル名」を選択 → 「開く」をクリック 	入力画層選択 「全選択」 → 「確定」をクリック 		「追加読み込み」は、差分読み込みとなります DXFとは、 種類の違うCAD間で相互にデータをやりとりする際、用いるファイルの種類(中間ファイルの一種)
			上段の続き 	「ポリゴン」をクリック 	敷地形状をトレースする 「近点」をクリック 敷地形状をトレース → 最後の点のひとつ手前の点を選択 >>重要<<	 右ボタンをクリック!! 「現ブロック終了」をクリック		交点が合っていない場合 このアイコンで、範囲を拡大表示! 点移動を利用する
			上段の続き 	「ファイル」 → 「プログラムの終了」 	データの更新をします 「はい」をクリック 	背景図の更新をします 「はい」をクリック ※敷地、5m、10mラインが表示される 	 方位・境界条件の入力へ	プログラムの終了は、[本敷地編集]画面の右上のバツマークをクリックしても可!



与条件編集

*** 敷地の入力 (DXFの利用2) ***



生活産業研究所株式会社

シートNo.	メニュー	条件選択	サブメニュー	操作画面1	操作画面2	操作画面3	次操作	備考
②	与条件 [与条件]をクリック 	CASE2 DXFファイルを利用 (既存敷地形状データをそのまま利用)	本敷地 [図形]をクリック 	本敷地編集 「参照画面の選択」をクリック 	参照画面ファイル選択 「ファイルの場所」・「ファイル名」を選択 → 「開く」をクリック 	入力画面選択 「全選択」 → 「確定」をクリック 	 下段の 操作画面1へ	CAD側でDXFファイルを作成する際に、敷地・建物の情報は「ポリライン」で作成すると、高さ情報を引き継いで受け取ることが可能です 「追加読み込み」は、差分読み込みとなります
			上段の続き 	「変更」をクリック 	対象となる敷地形状(ポリゴン)を選択する		下段の 操作画面1へ 	DXF読み込みが出来ない読み込んででも図が表示しない場合は縮尺が違っている可能性があります! ↓ 読み込む際に、1/1になるように倍率を設定してください。
			上段の続き 	「ファイル」 → 「プログラムの終了」 	データの更新をします [はい]をクリック 	背景図の更新をします [はい]をクリック ※敷地、5m、10mラインが表示される	方位・境界条件の入力へ 	プログラムの終了は、[本敷地編集]画面の右上のパスマークをクリックしても可!